



輝け！北っ子

平成30年12月11発行

12月号

発行責任者 紺野 宗作

一人一人の学びを保障し、確かな学力を身につけたい！



12月6日。第3回の北小学校の授業公開研究会が行われました。今回は、4年2組の中山伸先生に音楽の授業（単元名「日本の音楽に親しもう」）を提供いただき、講師には、國學院大學准教授の齋藤智哉先生、県北教育事務所指導主事の花輪忠康先生のお二人をお招きし、授業についての研修を深めました。参観者は、市内の他校からの参加者に加え、宮城県多賀城市から参加された先生もおり、授業後の話し合いも活発に行われました。

本校が目指していることは、「一人一人の学びを保障し、確かな学力を付けていくこと」です。そのための授業はどうあればよいか？日々悩むところです。

特に本校で力を入れているところは、学級の全員が、一人残らず学びに向かって意欲的に取り組めるようにすることです。そのために、友達との交流を通して、様々な考えを共有したり吟味したりする場面を大切にしたい授業をしています。

これからも、北小学校の全ての子どもたちが、意欲的に取り組む授業を目指して授業の改善に努力していきたいと思えます。



授業では、琴の音色が響き渡り、子ども達も日本の伝統文化のよさを体感していたようです。

図書ボランティアの皆さんありがとうございます



図書ボランティアの方々には、図書の整理や読み聞かせだけでなく、学校の正面玄関にある掲示板を月ごとにいつもきれいなイラストで飾っていただいています。（左写真）子ども達も登下校時に足を止めて眺める様子が見られています。また、図書室には、その月の行事や季節に合わせた図書紹介等もしていただいています。（右写真）一人でも多くの子ども達に本好きになってほしいです。

子どもをダメにする 10 カ条

柳田邦男著「みんな、絵本から」という本に「子どもをダメにする 10 カ条」というのがあります。これを読むとはっとすることがあるかも知れません。この 10 カ条にあることの反対のことを心がけて子育てをしていけば、よりよく育つと言うことになります。誰もが自分の子育てへの悩みはつきないと思います。この 10 カ条でこれまでの子育てを振り返る機会にしてはどうかと思い掲載いたしました。

- 1 おカネやモノを ほしただけ与える。
- 2 子どもをしつけるために、びんたをくらわせたり殴ったりする。言うことを聞かなければ、口もきかず、食事も用意せず、完全に無視する。
- 3 子どもがやることにいちいち干渉し、宿題の一字一句にまで口出しする。「おまえはダメだ」「馬鹿だ」と人格を否定する言葉を繰り返す。いいところがあってもほめない。
- 4 テレビ、ゲーム、ケイタイ、パソコンを子ども部屋にそろえてやり、好きなように使わせる。
- 5 わが家の生活時間、生活習慣を決めないで、夜ふかしをしても叱らない。朝寝坊をしても叱らない。
- 6 家族一緒に食事をしない。両親それぞれに忙しいことを理由に、「好きなものを買って食べなさい」と言っておカネを渡す。
- 7 家族それぞれの家事の分担を決めないで、家事の手伝いもさせない。
- 8 夫婦が子どもの前で、年中喧嘩をしあい、モノを壊したり殴り合ったりして、家の中を冷えきった緊張感でみなぎらせておく。
- 9 子どもに対し、夫婦のどちらかが相手の悪いところばかりを話したり、学校や教師の悪口ばかりを言う。
- 10 子どもが二人以上いる場合、特に学業の成績がいい子、特定のスポーツや芸術などに才能を発揮する子、あるいは重い病気になった子だけに愛情を注ぎ、他の子を見捨てる。